

学校だより  
2月号

つなしま



令和6年1月31日  
横浜市立綱島小学校

【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

## 憧れ

校長 金森孝子

大谷翔平選手からのグローブが1月29日(月)午後が届きました。一刻も早く子どもたちに披露したいと考え、2月の朝会を1月30日(火)に変更し、校庭で3つのグローブの贈呈を行いました。正門のそばの白梅も花をつけ始めた校庭は日差しも暖かく、子どもたちは、大谷選手のメッセージをしっかりと聞いていました。大谷選手といえば、WBCで侍ジャパンを優勝へ導いたといわれる、チームメイトへの「憧れるのをやめましょう」の言葉が大変話題になりましたが、今や世界のスーパースターで、誰もが憧れる存在です。春の到来を感じながら、「夢のシンボル」としての大谷グローブをはめて子どもたちがキャッチボールをする姿が目には浮かぶようです。

令和5年度は、出前授業や校外学習を通して、文化やスポーツなどの分野でプロフェッショナルな方々を直接知ったり交流したりする機会がありました。

2年生は、1月19日、26日に、「横浜F・マリノス サッカー食育キャラバン」として、コーチ2名にサッカーの基本的な動きの学習を通して、運動やサッカーの楽しさを教えていただきました。また、体づくりや運動の源となる食事の大切さもお話していただきました。ボールの操作やゲームの指導を受けながら子どもたちは思いっきり楽しんでいました。

4年生は、1月16日に「東京バレエ団」による「子どものためのバレエ ドン・キホーテの夢」を関内ホールで鑑賞しました。それまでほとんど触れることのなかったバレエの世界に、多くの子どもたちが魅了されていました。バレエを習っている子にバレエやパンフレットについて質問している子もいました。「すごかったね。」「あんなに回転しているのに目がまわらないのかな。」「おもしろかった。」と感想もたくさん聞かれました。

5年生は、10月18日に、「心のふれあいコンサート」として、「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」によるクラシックコンサートのみなとみらいホールにて鑑賞しました。子どもたちが普段放送等でなじんでいる曲も多く、「知ってる!」という表情を浮かべながら興味深く聴いていました。コンサート会場では、本校にとって特別なことが2つありました。一つは、座席がオーケストラの演奏が後ろから見る事ができるステージ側の座席だったことで、オーケストラとパイプオルガンの演奏が間近で見られたこと、もう一つは、オーケストラの団員の一人が本校につながりのある人で「綱島小はどこですか?」と紹介されたことです。

6年生は、11月8日に、「劇団四季」による「ファミリーミュージカル ジョン万次郎の夢」を関内ホールで鑑賞しました。社会科で学習した「福沢諭吉」「勝海舟」が登場する舞台上、開国に至った時代の流れも感じながら楽しむことができました。面白いときは大いに笑い、感動したら拍手するなど、観客が自由な心で楽しむ時間をみんなで共有することができました。

本物との出会いは、人の心を熱くします。大谷翔平選手のメッセージと「夢のシンボル」を身近に感じ、子どもたちの「充実した人生」を願いながら、令和5年度の教育活動のまとめをしまります。



学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。この3つのグローブは学校への寄付となります。それ以上に私は、このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私の充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平